成丘だより

成増（なります）学びのエリア
（赤二中・成増小・成増ヶ丘小）

成丘小HP
二次元バーコード

板橋区立成増ヶ丘小学校
学校だより１１月号
令和８年１０月３０日
校長　髙野　剛一

新教育目標と校歌の歌詞

校長　髙野　剛一

10 月に実施した音楽会では、多くの保護者の方々にご覧いただき、誠にありがとうございました。子供たちにとっては、本番で練習の成果を発揮することができ、大きく成長する場となりました。現在は、11 月 14 日（土）開催の運動会に向けて、本気で練習に取り組んでいます。

さて、創立７０周年を機に、教育目標を新たにする取組を１学期から進めてきました。「成増ヶ丘小学校でどのように成長したいか（どう育ってほしいか）」というアンケートを子供たち、保護者、教職員に行った結果をもとに、下の３つの柱を設定しました。その後、コミュニティスクール委員会でも協議を行い、「**自律・共感・挑戦**」という３つの言葉に決定しました。

○ **自分で考え、行動できる子になりたい（育ってほしい）** ○ **自分も相手も大切にできる子になりたい（育ってほしい）** ○ **明るく力強く，未来を切り拓ける子になりたい（育ってほしい）**	⇨ **自律** **共感** **挑戦**

この後、子供たちが教育目標をより身近なものとして捉えることができるように、「～しよう」という行動目標としても表して完成です。「～しよう」という行動目標については、６年生から候補を募集した中から、全校の子供たちにアンケートを行って決めます。決まったものについては、１２月２日（水）の７０周年をお祝いする児童集会で発表することになっています。

○ **自律　・・・　〇〇〇〇しよう**	――「自律の気風　ゆかしくそろう」
○ **共感　・・・　△△△△しよう**	――「なかよくそだつ元気なわれら」
○ **挑戦　・・・　□□□□しよう**	――「あかるくつよくのびゆくわれら」「われらはあすの日本の力」

ここで、本校の校歌の歌詞を見てみると、歌詞の中に新教育目標の要素が散りばめられていることが分かります。歌詞の太字で示したところです。開校３年目に作成された校歌の歌詞と新たな教育目標に重なる部分を見付け、本校の目指す子供の姿はこうやって受け継がれていくのだと、感慨深いものを感じました。

校歌

作詞　勝　承夫
作曲　平井康三郎

かがやく空に　はためく旗は
楽しいみどりの　校章旗
成増ヶ丘　平和の庭に
なかよくそだつ　元気なわれら

希望をこめて　きよらにひらく
こころの花の　白梅よ
自律の気風　ゆかしくそろう
われらはあすの　日本の力

梢にうたう　夢よぶ小鳥
若葉が燃えたつ　プラタナス
成増ヶ丘　光の庭に
あかるくつよく　のびゆくわれら

校歌の歌詞には、四角で囲った言葉も出てきます。これらは、今でも校庭にあるものです。20 周年の記念誌を読むと、「学校の校庭にあるものを入れることで、誰にでも歌いやすく、親しみを込めて歌えるように苦労して作った」と作成当時のことが書かれていました。

これまで、８千人を超える卒業生が歌い継いできた校歌について、そこに込められた思いや意味も理解して子供たちに歌ってほしいと強く思ったので、新教育目標が完成した後、全校朝会で話をしようと思います。

プラタナス

白梅

６年生が毎朝掲げる校章旗